

OPAC 通信

Transforming Okinawa's Heart into Action

Okinawa
Peace Assistance
Center

特定非営利活動法人
沖縄平和協力センター (OPAC)
沖縄県那覇市久米 1-5-18 稲福ビル 201-B
TEL (098) 866-4635 / FAX (098) 866-4638

www.opac.or.jp
(<http://blog.livedoor.jp/opac/>)

2011. August



OPACのロゴマーク
沖縄を飛び出し世界の
現場で活躍することを
イメージしました。

第2回 OPAC防災講座開催！

8月26日、レイモンド・グリーン在沖米総領事をゲストスピーカーにお迎えし、「東日本大震災の『トモダチ作戦』」をテーマに第2回OPAC防災講座～東日本大震災から学ぶ～を那覇JC会館で開催しました。本連続講座(全5回)では、東日本大震災での救援・支援活動に関わる様々な分野から招聘したゲストスピーカーによる基調報告をもとに、沖縄での災害対策について考えることを趣旨としています。

30余名が参加した第2回となる今回は、グリーン総領事が在日米軍の「トモダチ作戦」について現地での米軍活動を収めた写真を交えて報告。救援・支援活動における自衛隊や被災地の方々との連携の重要性を強調しました。また、基調報告後の質疑応答セッションでは、災害時における在沖米軍と地元沖縄間の協力体制の在り方や課題に質問が集中しました。離島を多く抱える島嶼県沖縄の特質を踏まえ、特に医療や行政の現場から、緊急時の米軍施設活用、避難民・被災者の移送や救援物資等の輸送手段確保など災害対処における米軍との連携の必要性を訴える声もありました。これに対し、グリーン総領事は、在沖米軍がその能力を災害対処支援に最大限に生かすために、日米間あるいは現地との協定等の締結や共同訓練の充実が急がれると述べ、沖縄の災害対処能力の向上に向け協力を惜しまないことを伝えました。



府本禮司氏 (OPAC理事、元沖縄県知事公室長) (左)

レイモンド・グリーン氏 (在沖米総領事館 総領事) (右)

OPAC お知らせ

第3回目の防災講座は9月30日開催です。ゲストスピーカーは自衛隊の方を予定しています。東日本大震災では沖縄に駐屯する自衛隊員も被災地での救援・支援活動に従事しました。東日本大震災での救援・支援活動の柱となった自衛隊の活動を通して、沖縄での災害対処について考える機会となれば幸いです。たくさんのご参加をお待ちしております。

「第3回 OPAC防災講座」

日時：2011年9月30日(金) 18:30～20:00
場所：JC会館(那覇市高良) (予定)
参加費：無料



第2回 OPAC 防災講座

編集後記

OPAC 通信 8月号を担当した琉球大学法文学部人間科学科社会学専攻2年次の上地珠子です。OPAC でこの3週間、インターンとして関わらせて頂きました。インターン中にはこの第2回防災講座の実施に加え、打ち合わせや取材にも同行させてもらい、とても良い勉強になりました。また、今回のインターンで一番意識・実感したのが、人と人との繋がりがです。これは様々な場面で感じましたが、仕事をする上では必要不可欠のものであり、また日常生活においても、防災講座でも話題に上がっていたように、特に緊急時には人と人との相互協力や連携が重要になってくると思います。そのうえで、被災地の一日でも早い復興を目指して、できる限りのことをやっていきたいです。拙い文章でしたが、読んで下さってありがとうございました。(上地)